

【資料1】令和5年度 デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）事業実績  
 自治体広域連携によるローカルベンチャー拡大推進事業(令和3～7年度)  
 ～官民共同・地域間連携による企業版関係人口創出・右腕人材マッチングプラットフォームの開発～

	広域自治体共通プログラム	企業版関係人口等拡大事業（関係人口創出事業）			重点ベンチャー支援事業（新事業創出加速化事業）			ハード事業
事業の名称	広域自治体共通プログラム（協議会への拠出金）	関係人口プラットフォーム構築事業	オープンデータプラットフォーム構築事業	先端技術による3K課題解決実証事業	TAKIBIプログラム(ビジネスアイデア・プラン開発事業)	新事業創出加速化支援事業	百年の森林留学プログラム事業	ユニット住宅建設事業
内容	本分野に実績と知見を持つNPO法人ETIC.を事務局としたローカルベンチャー推進協議会で、全国の志を同じくする6自治体が連携し、各自治体から事務局への拠出金をもとに、「地域共創ラボ」を構築し企業版関係人口の拡大に取り組む。	村外企業や研究者、個人等が、地域への理解・課題解決への参画等を通じて、継続的に西栗倉村に関わる「関係人口」を維持・増加させるための環境・インフラを整備し、村外からの来訪者にとって課題である「活動し企業版関係人口の拡大」の改善に向け取り組む。	村における既存データのオープン化の促進と新規データ取得の方針の策定によるデータの利活用環境を整備する。また、村内におけるオープンデータ化やデータ活用等に関わるコミュニティの形成に向けた場を整備する。	「きつい」「きたない」「危険」いわゆる3Kと呼ばれる作業負担を軽減するテクノロジーを持つ企業との共創・創発活動を通じ、村での実証実験を支援し、課題解決に取り組む。	スケールする新事業の創出を目的とし、地域課題を明らかにした上で、解決の手段となる域外のビジネスモデルを調査する。その上で、村内関係者や外部人材を巻き込んだワークショップを実施し、地域の願いと重ねながらビジネスアイデアの創出を行う。また創出されたアイデアに対して外部人材をコーディネートし、ブラッシュアップを行う。仮説検証を重ね、実現及び成長可能性の高いビジネスプラン創出を目指す。	「事業プランのブラッシュアップが可能な人材」にターゲットを絞り込み、「スケールするビジネスアイデアおよびビジネスプランを創出する一員」として位置づけ、新たに関係性を構築するための情報発信を行う。また、ビジネス創出に資する人材となる人材等との接点確保を意図したPR活動を行う。	本年度より通年の留学プログラムを実施し、運営を行いながら課題の掘り起こしやプログラムを改善する。また、より広域で募集を実施するためのネットワークの拡充を図る。同時に教員研修の受け入れを開始し、関係人口としての外部人材の掘り起こしも行う。	これから村で仕事を始める移住者を対象とした、ユニット型の住宅を建設する。この住宅は西栗倉村産材（FSC認証材）を活用し、短期間で建設可能な「組み合わせ式建築工法」の実証を目的とし、今後は、住宅の温度や湿度の情報を取得しながら住環境の調査を行い、住みやすい住宅の開発を進める。
事業費	7,700千円	21,900千円	8,000千円	4,070千円	49,500千円	27,500千円	1,380千円	16,676千円 (内交付金対象16,676千円)
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域連携自治体サミットを開催(宮城県気仙沼市)</li> <li>・自治体合宿開催(鹿児島県錦江町)</li> <li>・広域連携自治体総会2回開催(オンライン)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンデー開催12回、テックリテラシー向上研修4回、企業との共創・創発活動7社、シェアキッチン貸出7件。</li> <li>・西栗倉駅にソーラーカーポート設置。モビリティサービスの運営するモビリティセンターを立ち上げ。ローカルモビリティサミット in 西栗倉を開催。</li> <li>・4戸の住宅を対象に耐震性能・温熱環境調査を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データ連携基盤連携事業者数5社。</li> <li>・デジタル田園都市国家構想推進交付金の実装したサービスで取得されたデータについて、データ連携基盤にアップロードを実施。</li> <li>・総務企画課とのデータ活用検討会12回。</li> <li>・役場への専門家派遣7回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年に実施したデモ運転と比較するため、類似の草刈機を調査。また、国土交通省の実証事例を整理した。これにより得られたデータを踏まえ、次年度のサービス提供モデルを策定した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題を明らかにするため村民への願い調査を実施(50件)</li> <li>・役場職員の願いワーキング1回実施。</li> <li>・地域内外の人材が、リソース・アイデアを持ち寄り、雇用を生み出す規模で自走可能な事業アイデアを検討する「TAKIBIキャンプ」を2回開催。</li> <li>・上記キャンプ内で提案された事業を有識者による審査会で1件採択。</li> <li>・審査会により採択されたビジネスプランの実現に向けたブラッシュアップを実施。(2件)</li> <li>・TAKIBIプログラム全体のフレームを検討。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TAKIBIプログラムの進捗を周知する「TAKIBI通信」記事を3号作成、配布。</li> <li>・関係性構築のための情報発信記事を7件取材・配信。</li> <li>・Uターン人材へフックさせるための村内求人広告を帰省時期に合わせて2回発信。</li> <li>・Uターン人材を将来ビジネス創出に資する人材と捉え、あわくら未来会議プロジェクトチームによる企画を実施。イベント1回開催、16名参加。</li> <li>・関係人口の関わりしるを生み出す機会として、食をテーマにしたディスカッションイベントを1回開催。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・留学プログラムの開発を再構築の検討を実施。</li> <li>・留学生のネットワークづくりのための募集イベントを実施。</li> <li>・留学生を募集のための体験イベントを開催し、1名が参加。</li> </ul>	令和4年度に取得した下土居地区の用地に令和4年度に2棟を建設。令和5年度に3棟を建設した。

令和5年度デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に関連したKPI（重要業績評価指標）の進捗状況

【資料2-1】

地域における安定的な雇用創出、地方への新しい人の流れ、まちの活性化など、地方創生の深化の実現に向け、地方公共団体が地方版総合戦略に基づき実施する先駆的な取組を国が支援

事業名	事業内容	R5事業費	事業期間	重要業績評価指標(KPI)		現況値(R2)	年度別状況					
							R3	R4	R5	R6	R7	累計
資料1-1 広域連携事業  自治体広域連携によるローカルベンチャー拡大推進事業 ～官民共同・地域間連携による企業版関係人口創出・右腕人材マッチングプラットフォームの開発～	企業版関係人口の創出と右腕人材マッチングプラットフォームを開発する自治体広域連携によるローカルベンチャー拡大推進事業を実施する。事業内容は、第1期での事業実施を踏まえ、企業版関係人口の創出とマッチングと各地域での課題解決を推進する人材を育成・確保する事業を広域自治体連携の共通プログラムとして実施する。各地域ではそれぞれの地域性や地域課題に合わせて独自プログラムを開発・実施し、共通プログラムでマッチングした企業版関係人口との協働を推進し、ローカルベンチャーの自立化や地域課題の解決等を図る。	136,726 千円	R3～ R7	ローカルベンチャーによる売上規模(増加数)	目標値(千円)	1,838,897	100,000	177,900	222,400	273,600	326,000	2,938,797
					実績値(千円)		0	0	222,186			2,061,083
				都市部企業との協働プロジェクト件数	目標値(件)	0	5	3	5	3	5	21
					実績値(件)		18	6	6			30
				課題解決型人材の増加数	目標値(人)	0	40	40	40	20	20	160
					実績値(人)		35	40	52			127
				事業ノウハウ移転地域数	目標値(地域)	0	6	14	14	14	14	62
					実績値(地域)		0	6	14	32		

第6次西栗倉村総合振興計画(総合戦略)指標一覧 R5年度実績

資料2-2

	指標	基準値 (R2策定時)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	中間目標 (R7)	最終目標 (R12)
1-1 健康に過ごし続けるための備え	国民健康保険の特定健診受診率	47%	44%	50%	63%	56%	65%
	がん検診受診率 胃がん	27%	22%	15%	12%	32%	37%
	肺がん	33%	31%	25%	19%	38%	43%
	子宮がん	26%	22%	21%	14%	31%	36%
1-2 魅力的な子育て環境づくり	乳幼児健康診査受診率 1歳6ヶ月児検診	100%	80%	100%	100%	100%	100%
	乳幼児健康診査受診率 3歳児検診	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	保育環境や遊び場に対する不満足度	10.6%	13.0%	11.5%	13.5%	8.0%	5.0%
	子育てに対する地域の協力の不満足度	4.7%	5.0%	5.0%	7.7%	4.0%	3.0%
	中高生と村の大人が協働して実施した活動数	1回	1回	5回	6回	2回	3回
1-3 誰もが住み続けられる環境づくり	調整済み要介護認定率	18.0以下(R1)	15.5%	15.9%	17.8%	18.0以下	18.0以下
	福祉サービス(在宅福祉など)の状況の不満足度	4.6%	7.9%	8.1%	6.1%	4.0%	3.0%
	障がい者(児)への相談支援の年間実施回数	180回	180回	269回	203回	200回	200回
1-4 医療体制などの充実	病院などの保険・医療・福祉の整備状況の不満足度	11.6%	21.0%	18.8%	25.0%	10.0%	8.0%
	休日夜間の救急医療体制の不満足度	21.9%	27.7%	33.0%	33.5%	21.0%	20.0%
	1人当たりの国民健康保険の医療費	363千円	405千円	463千円	434千円	350千円	335千円
2-1 社会とつながるきっかけづくり	あわくら図書館の村民1人当たりの年間貸出冊数	11.1冊	12.3冊	11.8冊	12.8冊	13冊	15冊
	生涯学習講座(あわくら大学等)の年間実施回数	126回/年	106回/年	103回/年	85回	130回/年	136回
	生涯学習等の成果を発表できる場の数	2回	3回	3回	3回	3回	3回
2-2 スポーツに出会う環境づくり	子どもが所属するスポーツ団体数	9団体	6団体	7団体	10団体	11団体	12団体
	スポーツ大会やスポーツ塾の参加者数	451名	377名	336人	343名	500名	550名
2-3 文化に触れ、継承する環境づくり	広報機会を増やし情報を知る機会を増やす	2回	1回	1回	1回	10回	12回
	文化系サークルの団体数	9団体	8団体	8団体	8団体	11団体	14団体
2-4 質の高い学校教育の推進	地域の人が参加した小中学校の活動及び授業数	29回	38回	45回	144回	36回	45回
	教育環境(特色のある学校教育等)の不満足度	9.0%	12.9%	8.4%	10.6%	8.0%	7.0%
3-1 地域の農業を支える環境づくり	農作物の新たな担い手確保(累計)	1人	1人	1人	1人	2人	3人
	早場米生産量	320t	329t	313t	320t/年	342t	364t
	給食への地域農作物提供回数	113回	120回	140回	194/年	142回	170回
3-2 林業の振興と森林の多様化と価値最大化	森林に関わるイベントや木育活動の実施件数	4件(R1)	13件	7回	7回	6件	8件
	年間木材搬出量	10,750m <sup>3</sup> (R1)	8,887m <sup>3</sup>	8,007m <sup>3</sup>	11,148m <sup>3</sup>	12,500m <sup>3</sup>	13,000m <sup>3</sup>
	長期施業管理契約受託面積	1,470ha(R1)	1,520ha	1,579ha	1,325ha	1,700ha	2,000ha
	森林サービス産業事業の新規創出件数(累計)	2件	5件	7件	13件	4件	6件
3-3 地域の光を魅せる取組推進	主要観光施設の年間観光客数	10万人	10万人	10万人	8万人/年	15万人	20万人
	村内の観光資源数	23件	27件	30件	30件	37件	50件
	体験型ツアー、交流事業の企画件数	6件	7件	7件	9件	10件	15件
3-4 地域経済循環を生み出す商工業の推進	ローカルベンチャーによる年間売上額	19.7億円	18.4億円	19.0億円	19.0億円	22.3億円	29.7億円
	地域内での起業・新事業創出数(累計)	5件	7件	14件	6件	7件	10件
	ローカルベンチャーの求人機会の数	1回	2回	2回	2回	2回	3回

第6次西栗倉村総合振興計画(総合戦略)指標一覧 R5年度実績

資料2-2

	指標	基準値 (R2策定時)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	中間目標 (R7)	最終目標 (R12)
4-1 交通基盤の整備と持続可能な維持管理	幹線道路や生活道路の整備状況の満足度	65.3%	64.2%	72.2%	66.5%	67%	69%
	福祉バスの利用者数	3,800人	3,999人	4,363人	3,828人	3,000人	2,500人
	鉄道やバスなどの公共交通の利便性の不満足度	34.2%	41.6%	37.1%	37.4%	30%	20%
4-2 長く住み続けることができる環境づくり	村の政策として確保した住宅数	81戸	82戸	84戸	85戸	100戸	120戸
	Uターン世帯の5年定着率	59%	54%	53%	57%	62	65
	村に住み続けたいと思う人の割合	59.9%	50.5%	54.6%	44.8%	70%	80%
4-3 空き家対策の推進	村内の空き家率 全国13%より低く設定	8.3%	8.3%	8.0%	8.0%	8.0%	8.0%
	対策(利活用、除却)を行った空き家数(累計)	32件	38件	41件	43件	40件	50件
4-4 ごみの減量化とリサイクルの推進	一人一日当たりごみ総排出量	680g/人・日	649g/人・日	649g/人・日	660g/人・日	610g/人・日	550g/人・日
	不法投棄の年間件数	8件	5件	1件	1件	4件	0件
	自然環境の保全状況の不満足度	6.70%	9.90%	11.8%	13.9%	6%	5.50%
	資源ごみ年間回収量	48t	43t	42t	39t/年	53t	58t
4-5 脱炭素化に向けた取組推進	村内の再生可能エネルギーによる電力自給率	28.8%	45.5%	60.6%	57.0%	50%	70%
	電気自動車導入台数(累計)	5台	10台	12台	17台	20台	100台
4-6 上下水道の持続可能な維持管理	水道施設・管路の更新率	4.4%	4.4%	4.8%	4.8%	7.5%	10%
	水洗化率	93.70%	93.70%	95.40%	95.6	94%	94.30%
	上水道(簡易水道)の整備状況の満足度	78.10%	76.50%	84.7%	79.7%	79%	80%
4-7 地域の消防・防災力の向上	自主防災活動を行った組織数	0組織	0組織	0組織	0組織	6組織	12組織
	消防・防災訓練実施回数	2回	1回	2回	1回/年	2回	2回
4-8 安心して暮らし続ける環境づくり	交通安全に関する広報(働きかけ)の実施回数	2回	2回	2回	2回	4回	4回
	消費生活に関する広報(働きかけ)の実施回数	6回	1回	1回	2回	8回	8回
	村民向け相談窓口の設置回数	6回	6回	6回	6回	8回	8回
	交通安全に関する高齢者や子ども達への働きかけの回数	0回	0回	0回	1回	2回	4回
5-1 あらゆる主体の参画・連携により地域を元気づける	地域づくり活動登録団体数	3団体	3団体	3団体	3回	6団体	9団体
5-2 持続可能な行政事務の実施	研修年間延べ参加者数	95人	62人	129人	53人	110人	130人
	村職員離職率(5年間)	18%	17%	21%	26%	10%	5%
5-3 持続可能な公共財管理と財政運営	経常収支比率	90.2%	89.7%	94.5%	94.4%	92.0%	91.0%
	実質公債費比率	8.8%	10.6%	12.7%	13.8%	17.0%	15.5%
	指定管理者制度の導入施設数	13箇所	13箇所	14箇所	15箇所	13箇所	13箇所
5-4 いつでもどこでもだれでもつながる	通信環境の不満足度	13.7%	13.7%	10.9%	12.6%	10%	8%
	電子申請実施業務数	30件	212件	976件	261件	300件	500件
	BPR実施業務数	0件	0件	0件	0件	2件	2件
5-5 あちこちから進む情報の共有化	審議会等の村民公募委員数	5人	0人	0人	0人	6人	7人
	地区座談会の開催件数	0回	0回	0回	12回/年	6回	12回
	オープンデータ公開件数	0件	8件	14件	14件	50件	100件
5-6 取り残されそうな領域をほっとかない	会議委員等における男女比率の公開件数	0件	0件	0件	0件	3件	6件
	普及啓発活動・広報の実施回数	2回	2回	2回	2回	4回	6回

### 自治体広域連携によるローカルベンチャー拡大推進事業 (R3～R7)

#### ■企業版関係人口等拡大事業（関係人口創出事業）

##### ①関係人口プラットフォーム構築事業 委託料 16,620 千円

前年度の参画企業の活動拠点の在り方、モビリティの在り方の検証を継続して実施する。また検証の結果を踏まえた次世代モビリティの設計を行う。

- ・村内の戸建て住宅を対象とした信託プランに基づく住宅の改修に向けた基本設計の検討と実証及び信託プランの策定
- ・スローモビリティ・省エネモビリティによる交通水準の変化の検証及び次世代モビリティを活用したサービスの検討
- ・ローカルベンチャー等に対するテックリテラシーの向上研修、共創・創発促進研修の実施

##### ②オープンデータプラットフォーム構築事業 委託料 8,000 千円

開発したデータ可視化ツールの運用を行う。また活用状況を解析しオープン化されていない需要のあるデータを採取し反映する。前年度に継続して形成した自由な発想とその発想を活かせるツール、指導者を備えたコミュニティを活かす場の整備とコーディネートを行う。

- ・運営管理（デバッグ解析・データ収集・修正業務）
- ・整備事業、整備後の住民への周知および参画促進コーディネート

##### ③先端技術による3K課題解決実証事業 委託料 4,000 千円

前年度までに開発したツールの実証実験の結果を検証しサービス提供案を検討する。

- ・データ解析、改善案を元にしたサービスの概略設計と実証

## 令和6年度事業【資料3】

### ■新事業創出加速化事業

第1期での課題解決と様々な人材のさらなる流動化をめざし、地域外の関係人口・リソースを巻き込みながらスケールビジネスモデルを地域に創出するため、下記のプログラムとこれに伴う情報発信を実施する。

#### ①TAKIBI プログラム（ビジネスアイデア・プラン開発事業） 委託料 49,500 千円（委託料）

前年度に引き続き、地域の中や、村内ローカルベンチャーが描く願い（アイデア）を取材・調査・ワークショップ等で抽出し、ビジネスアイデアを創出する。また、地域を問わず外部人材にプログラムに関わってもらうことで、全国各地の外部人材が西栗倉村に関わっている状態をつくる。その上で創出されたアイデアに対して外部人材等をマッチングしながら、アイデアのブラッシュアッププログラムをコーディネートし、事業プランを作成する。また、必要に応じて事業の自立支援も行う。加えて、主体的に関わる外部人材を創出する中で、外部人材が主導してブラッシュアップを行う案件が生まれるようにする。さらに、関わりが深くなった外部人材が、サポート側から担い手側に回る動きをつくる。本事業により年間で新たに2億5000万円売上規模、および3~5件のプロジェクト創出を目指す。

#### ②新事業創出加速化支援事業 委託料 27,500 千円

前年度に引き続き、ビジネス創出に資する人材との関係性を作るための情報発信を進める。また①を経て開発された事業プランの発信も積極的に行い、地域内外でプランの担い手となる人材や事業者の募集・マッチング等を進める。さらに、①および②で関わった外部人材が担い手としても挑戦する動きをつくる。年間で30名の課題解決型人材の増加を目指す。

#### ③百年の森林留学プログラム 賃借料 1,380 千円

前年度までの運営及び検証結果をもとに、事業が自走できる規模を想定したプログラムの運営や募集の仕組みについての点検を行い、留学プログラムを完成させる。またオンライン等での説明会の定期開催を実施する。

- ・留学プログラム運営及び実施検証、教育留学プログラムの完成
- ・プログラム改善や事業評価のための意識変化調査の実施

会議の名称	第9回 西粟倉村総合戦略有識者会議次第
開催日時	令和7年1月14日(火) 13時30分～15時40分
開催場所	あわくら会館 あわくらホール
委員	産 株式会社エーゼログループ 代表取締役 牧大介 官 岡山県美作県民局 地域政策部地域づくり推進課長 斎藤雅史 学 鳥取大学 地域学部地域政策学科 教授 多田憲一郎 (欠席) 金 トマト銀行 林野支店長 前原義三郎 労 津山公共職業安定所 美作出張所長 犬飼真吾 言 山陽新聞 津山支社長 小野暁
事務局	総務企画課長 榎原博文 産業観光課長 萩原勇一 教育委員会 課長 榎原まゆき 産業観光課 主事 桂田佳織 総務企画課 主任 白岩将伍 (会議進行)
会議資料等	別添のとおり

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
総務企画課長 白岩	<p>1. 開会</p> <p>(1) あいさつ</p> <p>気候の良い新年を迎えることができた。しかし、本村では新年から亡くなられる方多く、人口維持が課題である。</p> <p>本会議は、昨年を取組を中心に報告。関係人口拡大、ローカルベンチャーをはじめとする人口維持の取組を実施。</p> <p>石破内閣となつての地方創生2.0取り組みでは、村へ対し夫々の専門的な視点からアイデアをお伺いしたい。本日はよろしくお願ひいたします。</p> <p>(2) 出席者・事務局紹介</p> <p>名簿順にご紹介</p>
教育委員会課長 桂田、白岩	<p>2. 総合振興計画に基づく取組内容等について</p> <p>(1) 令和5年度取組内容について (デジタル田園都市国家構想交付金 (地方創生推進タイプ))</p> <p>(2) 令和5年度交付金事業及び総合振興計画における KPI の状況</p> <p>(3) 令和6年度の取組内容について</p> <p>各事務局より説明</p>

<p>牧委員</p>	<p>3. 意見交換  (1) 取組内容等への質疑応答  印象として、村全体への経済の拡大が難しくなっている。各村内事業者は頭打ち感がある。  弊社でも木材加工の売上が4億6千万から半減。ものづくりの分野がかなりのスピードで落ちている。  対して、山の整備は拡大できている。村外でも稼げるようになってきた。  TAKIBI プログラムなどやっているが、既存の仕組みの延長では厳しくなっている。 経済の拡大が村の大きな課題である。</p>
<p>前原委員</p>	<p>木材加工が落ちている要因は需要か。競合か。</p>
<p>牧委員</p>	<p>市場が飽和している状態。中小の事業所が特に厳しい。大手と色を分けたいと考える事業者の売上が20～30%減。下請けとなると40%～50%減になってしまう。原価を落としたいと考えるようになり大手から仕入れるようになってしまう。  また、中小の事業者同様に大手も細かいニーズに対応した受注をするようになってきた。弊社も製材を止め、近隣に製材を頼み仕入れバックする方が安価となっている。</p>
<p>産業観光課長</p>	<p>川上の整備は進んできた。森林整備は村内事業者が力をつけている。  川下として、木材チップは村が市場価格で買い取っている。地域の雇用につながっているが、規模として経済の受け皿になっていくのは難しい。次は雇用と経済拡大の展開と考えている。資本資産の使い方を工夫していく必要がある。</p>
<p>斎藤委員</p>	<p>事業の実施をして、どのような効果があるか？</p>
<p>桂田</p>	<p>TAKIBI では事業創出を目指しているところ。 新事業加速化では村民に事業の周知が効果としてあげられる</p>
<p>総務企画課長</p>	<p>新しい分野で課題も多い。モビリティの取組では関係人口の方の足として普及することを目指している。オープンデータは収集のフェーズ。今後の活用を拡大を目指すことを考えていかないといけない。</p>
<p>産業観光課長</p>	<p>観光を民営化の実績が KPI にあがっているところである。来年度は生物多様性の法人が立ち上がり、村として支援していく。</p>

前原委員	<p>委員3年目となり、西栗倉の先進的な事業内容に対し驚きなど慣れてきた。美作市の住民として西栗倉村を見た場合、西栗倉村は新しいことをやっているイメージ。村の中では周知されているのだろうが、村外へのPRは出来ているのかと感じる。対外的な周知をしやすくする取り組みをしてはどうか。</p> <p>金融機関の代表としての意見として、製材事業の頭打ちに対し、住宅の建設費用の高騰で一般の方の住宅ローンが厳しくなっている。現実的ではない状況。村産材の住宅を安価に建てられる仕組みを対外的に行ってはどうか。</p>
犬飼委員	<p>先進的なことを行っているイメージ。</p> <p>村内での雇用事業者も増えている。その中で推奨しているユースエール認定制度では管内で美作市が7社、勝央町が1社認定されている。雇用は生まれているが、今の若い方が応募したいと思う事業者が増えて欲しい。村では移住者が起業して雇用を生む仕組みからユースエールが難しいのではないかと考える。</p> <p>また、新しいホテルは出来たが、求人など大々的にされている様子が見えなかった。雇用はどのように生んでいるのか疑問に感じている。</p> <p>質問で、新事業創出加速化支援事業の中で、情報発信記事とはどのようなものか。</p>
桂田	<p>村内へ発信する求人情報。年2回、帰省のタイミングで発行している。</p>
犬飼委員	<p>Uターンは少ないのか。</p>
産業観光課長	<p>少ない。大学生に村の仕事の魅力をヒットさせられないかと考えている。新卒での村内雇用を増やしていきたい。働きたい職場がないと帰ってこれない。選択肢は増えてはいるが、都市部と比較すると僅かである。</p>
犬飼委員	<p>コンビニは検討しないのか。</p>
産業観光課長	<p>検討の過去はあるが、その際にコンビニすらない村のようなブランディングなど話があったりもした。</p> <p>飲食店など村内の娯楽や生活につながる施設は増えてはいる。</p>
総務企画課長	<p>時間はかかるが職場体験なども含め、Uターンも徐々に増えてきている。</p> <p>インターンなどしてくれる子が増えて欲しい。</p>
前原委員	<p>里親制度はやっているか。都会では居場所がない子どもが多い。村の良さを体験する制度をやっていないのか。</p>
教育委員会課長	<p>百年の森林留学がそのための事業。保護者との信頼をはじめ事業者を選定するこ</p>

前原委員	<p>とは難しい。 家族移住のニーズはあるが、空き家不足のため智頭町に転入し、区域外で期待という話も増加している。</p> <p>奄美大島では、村中で歓迎。子どもたちが大人になってまた来たいと考えている若者を増やしている。</p>
教育委員会課長	<p>Uターンでは20歳の集いを夏に開催する。その中で今の村を知ってもらうWSを開催。雇用のチラシや、村民アプリの周知など、村に住まなくても村に関わってもらう取り組みとしている。</p>
前原委員	<p>インターンはどのくらいいるか。</p>
産業観光課長	<p>エーゼログループさんは受け入れている。 今後、村の人事部を作れないかと考えている。専門的に事業者へのマッチングやマルチワークの斡旋をする。特地事業で考えている。 移住者にとって村内事業者へ入ったけど違ったというミスマッチを減らしたい。</p>
牧委員	<p>地域おこしインターン制度を活用することも検討してはどうか。特別交付税で措置される。</p>
総務企画課長	<p>エーゼログループでのインターン受け入れはどのようなことをしているのか。中学生の職場体験の受け入れの参考にもしたい。</p>
牧委員	<p>弊社のインターン生の受け入れはオーダーメイド。何をしたいか。どうなりたいか。をヒアリングし、企画など成果を出す。社内プレゼンで発表をしている。 中学生では考えて行動できるのは難しいと考える。高校生からは可能な子もいる。のちの雇用につなげるためにも重要である。 むらまると研究所が雇用対策協議会のような仕組みを担ってもらえたら良いと考える。 余裕がある会社がないため、雇用がなかなか進んでいかない。</p>
小野委員	<p>新聞社として反省している。TAKIBI、3Kなど資料を見るまで知らないことがほとんどであった。村がPRの努力されているのではないかと考える中で、新聞の影響力は落ちているが、デジタル版などリリースを出していただければ、面白い情報発信になっていきそうだと感じた。 人口減少対策は奪い合いとなってはいけない。仕事と居住を近隣の市町村で広域的にとらえてよいのでは。</p>

産業観光課長	<p>地元の子が村に戻っていくことがマスト。現在では若い女性がとどまることを考えていかなければならない。究極は魅力ある職場。</p> <p>K P I の 4 - 2 と村職員の離職率の高さを課題として考えたい。</p> <p>また、Jクレジットの活用は進んでいるのか。</p>
小野委員	<p>4, 200+分クレジット化</p>
産業観光課長	<p>生物多様性の取組は観光に活用するのか。</p>
産業観光課長	<p>村長は昔の川の環境を取り戻したいと話している等、生態環境を取り戻し、それらを活用した産業の活用を進め、地域経済につなげていく取り組みとしていきたいと考えている。最終的には観光活用にもなっていくだろう。</p> <p>都市部事業者との連携を行い、様々な方が関わりながら、PRも含め人が訪れるものとしていきたい。</p>
小野委員	<p>ユニット住宅はどのようなものか。</p>
総務企画課長	<p>これまでは単身者向けであったが、現在のニーズにあわせた世帯向けを検討している。</p>
白岩	<p>(2) 地方創生 2. 0 説明</p>
小野委員	<p>(3) 村への提案等 これまで県南赴任が多かったが、現在は県北の地方創生の必要を感じている。県北を応援するつもりでいる。</p>
犬飼委員	<p>現在のハローワークへの西粟倉の登録は20数名。西粟倉村は好きな自治体である。牧委員等の事業者と二人三脚でユースエール認定を受けた事業が増えたらと期待する。</p>
前原委員	<p>地域通貨の活用はどうか。他市町村では運用がうまくいっていない例が多い。銀行では新紙幣は発行される最後の紙幣に。今後デジタル化が進んでいく。村では、先に浸透させることで、地方創生を進めることができる。</p>
斎藤委員	<p>移住・起業・協力隊、多くの方が来ている。視察など多くの方が、魅力に感じて来村している。しかし、地域住民が感じられていないミスマッチが感じられる。県民局でも、特地など協力していきたい。</p>

<p>牧委員</p>	<p>地方創生の取組開始から約10年。役場も走り続けて職員負担が増加し、忙しくなっている。一旦休むタイミングと考える。</p> <p>来年度以降エーゼロの村からの受託も無くしていく。村全体で余裕を作っていくことを考えたい。</p> <p>しかし、民間は事業の整理をしやすいが、自治体はやめることが難しい。力を蓄えていくことを考えて欲しい。</p>
	<p>4. その他 特になし</p>
	<p>5. 閉 会</p>